



## 板状未塗装キット・旧型国電シリーズ

### 別売アイテム

- 台車           または   No.5006:DT13  
  No.5005:TR48
- 車両マーク   No.6302

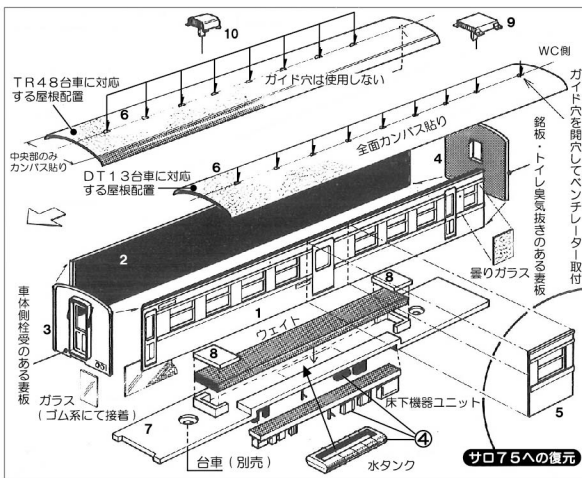
### カラーガイド

- ボディ           ⑤+⑦ 等\*
- Hゴム           ④
- 屋根           ⑤
- 屋上機器       ⑥
- 床下           ⑩

\*ボディの塗色は「車両ガイド」項もご参照ください。

### ドリル刃ガイド

2.0mm: ペンチレーター取付穴  
\*数字は直径です。

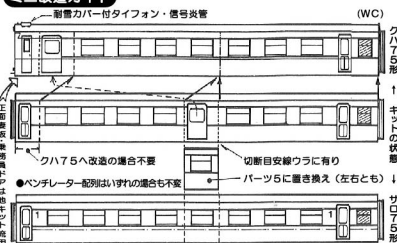


### ボディーの組み立て

左図を参考に(それぞれのパーツには向きがあります)左右側板、前後蓋板、屋根板をそれぞれ向きを揃えて、全体を塗装のちクリスタル(塩化板)を裏からゴム系接着剤で貼り付けます。床板7には鉄板のウェイトをウェイト止めで固定し、下面には床下機器を左右に振り分け接着。水タンクも中央に取り付けておきます。床板は全体を黒で塗装後、先に出来上がった車体にはめ込みます。

本キットでは昭和25年型の75101・102と28年以降型の75103～とを作り分け出来ますが、前者では台車をDT13を選択し、屋根のWC上部に穴をひとつ新たに開けてペンチレーター9を9箇所取り付けます。こちらの屋根は全面帆布貼りなので、雨種より上がタークグレーの滑溜導りの塗分けとなります。後者ではTR48台車を選択し、屋根は局部までブルーが回り込むほか、ペンチレーター10を使用します。

### ミニ改造ガイド



### 車両ガイド

スカ線70系用の二等車(後の一等車)で、サロ46として製造された付随車。70系製造当時は雑多な戦前型改造の二等車が多数存在したため、本形式は18両が製造されたにとどまりました。このため、クハ76やモハ70のような全金車は登場しませんでした。このことが後の一等車不足につながり、湘南型用のサロ85を塗り替えて長期にわたり使用するきっかけとなりました。70系の地方転出にあたっては、サロ75は二等車に格下げされたものの室内は手つかずで、ラッシュ時の乗降に問題が生じたため、一部は車体中央に1000mm扉を新設し、部分的にロングシート化されて100番台を名乗りました。また、二扉のまま残ったものも運転台取付改造のうえクハ75となり、原型のまま生涯を終えたのは4両のみでした。本キットは3扉化された姿ですが、付属のサロ復元パーツを利用して二扉化も可能なほか、クハ85キット(※169)等と切替ぐことにより、クハ75への改造もお楽しみいただけるでしょう。

### 編成例



●サロ75形の最初の格下げ、地方転出例。クモハ41はぶどう色、サハ75は等級表示を消したのみでスカ線時代のまま。旧国のMc+T+Mc3連運用は大変珍しく、中間Tは後にサハ15(17M車)、サハ57等を使用。